

令和３年度在宅医療・介護連携推進事業の取組状況

１ 事業趣旨

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者との協働・連携を推進することを目的とする。

２ 事業現況（清須市高齢者福祉計画 第８期介護保険事業計画）

- ・平成２７年８月から「きよすレインボーネット（電子@連絡帳）」を開始した。

在宅医療患者等の診療情報について、事業所間を結ぶネットワークで共有することで多職種連携を図り、対象者に質の高い医療・介護サービスを提供している。

- ・平成３０年からは、在宅医療サポートセンターを西名古屋医師会に委託し、西名古屋医師会在宅医療サポートセンターとして在宅医療提供体制整備の推進を図っている。

３ 在宅医療サポートセンターの活動状況

(1) 事業目的

在宅患者が住み慣れた地域で質の高い医療サービスを安心して受けられるように、地域の需要や実態にあった在宅医療を提供する体制の充実・強化を図るために、在宅医療連携体制を整備することを目的とする。

(2) 事業内容

- ・国の示す在宅医療、介護連携推進事業の以下⑧項目を委託

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">① 地域の医療・介護の資源の把握② 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討③ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進④ 医療・介護関係者の情報共有の支援⑤ 在宅医療・介護関係者に関する相談支援⑥ 地域住民への普及啓発⑦ 医療・介護関係者の研修、⑧ 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携 |
|--|

- ・資料１のとおり、上記①から⑦の項目の取組を遂行。

- ・上記⑧項目目の「在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携」については、県主体の役割へ変更。

＜内容＞ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村が連携して、広域連携が必要な事項について検討。

(3) サポートセンター業務検討会

毎月１回、２市１町及び医師会事務局とで進捗状況等の業務検討会の実施
次年度に向けての計画

4 電子@連絡帳の利用状況

① 県内の広域連携協定締結について（令和3年10月1日までに締結）

締結市町村	合計
尾張中部地域（清須市・北名古屋市・豊山町の2市1町）、尾張東部医療圏（6）、西三河北部医療圏（2）、西三河南部東医療圏（2）、東三河北部医療圏・南部医療圏（8）、春日井市、小牧市、岩倉市、津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、安城市、稲沢市、東海市、常滑市、大府市、知多市、阿久比町、東浦市、南知多市、美浜町、武豊町、半田市、西尾市、碧南市、知立市、刈谷市、高浜市	48

※電子@連絡帳未導入

名古屋市、一宮市、江南市、犬山市、扶桑町、大口町

② レインボーネット（電子@連絡帳）の清須市利用実績

項目	数値
対象患者数	22人
登録事業者数	179事業所
利用者数（事業者の職員等）	211人

＜対象患者の推移＞

H29年：12人、H30年：13人、R1年：12人、R2年：18人

5 尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会の活動状況

(1) 協議会の構成員

協議会の委員は次の組織、団体に属する者の代表委員で構成。

- | | | |
|----------------|----------------|---------------|
| (1) 西名古屋医師会 | (2) 西春日井歯科医師会 | (3) 西春日井薬剤師会 |
| (4) 在宅療養後方支援病院 | (5) 訪問看護ステーション | (6) 居宅介護支援事業所 |
| (7) 訪問介護支援事業所 | (8) 愛知県清須保健所 | (9) 清須市 |
| (10) 北名古屋市 | (11) 豊山町 | |

(2) 協議会の開催

協議会の開催：1回（5月）実施（書面）

ワーキング部会：1回目（10月）年度中に全2回実施予定

6 協議会の研修

○尾張中部地域在宅医療・介護連携推進研修会の開催

時期 令和4年1月22日（土）午後2時から4時まで

開催方法 集合形式（会場）とオンライン形式によるハイブリット型

テーマ 「身寄りのない高齢者への緊急時の対応」

① 講演内容 消防機関の体制や日々の対応の中での課題、在宅医療・介護関係者に求めたいこと等事例を踏まえた内容

講師 西春日井広域事務組合 東消防署

② 講演内容 「身元保証・身元引受け」・「成年後見制度」等の既存制度の基礎から起こりやすい課題とその解決策等、平時の準備に繋がるような内容

講師 愛知県成年後見制度推進委員会

7 事業の取組状況

(1) 現状分析・課題抽出・施策立案

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向け、現状の分析、課題の抽出、施策の立案を行う。

項 目		主な取組内容（平成30年度から令和3年度まで）	
		清須市	在宅医療サポートセンター （西名古屋医師会）
①	地域の医療・介護の資源の把握	・「在宅医療・介護資源マップ」の活用 ・生活支援コーディネーターによる地域資源の把握とリストの作成（社会福祉協議会委託） ・地域の医療機関、介護事業所の住所・連絡先・機能等の情報収集と整理	・往診可能な医師（医・歯・薬）のリスト作成※1 ・「在宅医療・介護資源マップ」の作成 ・訪問看護事業所の情報リスト作成 ・地域連携室のリスト作成 ・「ケアマネタイム」の作成※2
②	在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・清須市地域包括ケアシステム推進委員会の開催 ・地域ケア個別会議	・他職種との連携における課題の把握、対応 ・常任委員会の開催 ・サポートセンター業務検討会の開催（1回／月）
③	切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	・尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会参加 ・多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（多職種研修会、清須市オレンジサポートチーム（1回／月）） ・<u>入院時情報連携シート活用</u> ・市外医療機関との連携	・尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会、ワーキング部会の開催支援 ・2市1町の地域包括ケアシステム関連会議、研修に参加 ・電子@連絡帳の県内協定事務

※1 在宅医療実施医療機関の件数（市内）

医科：訪問診療、往診 8か所

歯科：訪問診療、往診 13か所

薬科：在宅患者訪問薬剤指導 13か所、居宅療養管理指導 12か所

※2 ケアマネタイム

介護支援専門員が医療機関に連絡をする際、日時や連絡方法（電話、ファックス、メール等）について情報共有するための一覧表。

(2) 対応策の実施

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に向け、事業検討した対応策の実施を行う。

項 目		主な取組内容（平成30年度から令和3年度まで）	
		清須市	在宅医療サポートセンター （西名古屋医師会）
④	医療・介護関係者の情報共有の支援	・レインボーネット（電子@連絡帳）の活用 （R3.9 現在 患者数 22 件、登録事業所 179 件、利用者数 211 人） ・主治医とケアマネの連絡票作成 ・「口腔観察シート」の活用 ・「<u>入院時情報連携シート</u>」の活用	・レインボーネット（電子@連絡帳）のプロジェクトにて在宅医療サポートセンター情報録の立ち上げ ・「<u>入院時情報連携シート</u>」の作成 ・「お薬手帳」活用の促進
⑤	在宅医療・介護連携に関する相談支援	・レインボーネット（電子@連絡帳）に関する相談 ・地域包括支援センター等の多職種との連携	・医療介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談の対応 ・地域包括支援センターとの連携
⑥	医療・介護関係者の研修	・現任介護職員・介護支援専門員研修会 ・各連絡会（通所事業所、ケアマネ、リハ職）による研修会等の開催 ・尾張中部地域在宅医療・介護連携推進研修会の参加	・尾張中部地域在宅医療・介護連携推進研修会の開催
⑦	地域住民への普及啓発	・「在宅医療・介護資源マップ」の活用 ・「お薬手帳カバー」とその活用チラシの配布	・「サポートセンターだより」の発行（年2回発行） ・「在宅医療・介護資源マップ」の作成